

寒さも和らぎ、明るい日差しが春の訪れを告げる今日の佳き日に、御来賓並びに多くの保護者の皆様の御臨席の下、「埼玉県立越谷総合技術高等学校 第三十七回卒業証書授与式」を挙行できますことは、本校にとりまして、大きな喜びでございます。

ただいま、卒業証書を授与された百九十六名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業を迎えた今日、振り返ってみれば、色々な思い出がよみがえり、胸に万感の思いがあることと思います。こうして壇上から皆さんを見てみると、凛々しくも穏やかな表情で、この三年間で本当にたくましく成長したのだなと思います。

皆さんは四月からそれぞれの道に進むこととなります。就職していち早く社会に出る人、進学してから社会に出る人など、それぞれが新しい進路に大きな希望と期待を持っていることと思います。

また、三月末ですべての卒業生が十八歳に達します。皆さん一人ひとりが成人としての権利を得て、それを行使できる尊さ、嬉しさがある半面、すべき義務や課せられる責任など、社会から求められるものも増え、身の引き締まる思いを抱いていることと思います。それもここまで成長したという証であります。

さて、現代社会は「少子高齢化」や「グローバル化」「情報化」など、様々な変化が急速に進展し、それとともに対応すべき問題が山積しています。例えば、エッセンシャルワーカーの慢性的な人手不足、また「生成AI」に代表されるデジタル技術が進展する一方、自分と似た意見や情報ばかりに触れ、自身の考え方や価値観が孤立する「フィルターバブル」の問題など、枚挙にいとまがありません。

さらに、昨年末に公表された、世界規模の成人力調査結果では、現在の日本は、「読解力」と「数的思考力」で世界二位、「問題解決能力」は世界一位となっています。その反面、経済的な視点で行われた世界競争力調査では、「ビジネスの効率性」において、六十七の国と地域の中で日本は五十一番目という低さとなっています。

この二つの調査結果をまとめると、他国に比べ日本は「学力は高い」けれども「仕事上の能力は低い」ということがいえると思います。そしてここに今の日本があまり元気でない理由の一端が見えていると思います。このような大きなうねりの中に、皆さんはこれまで以上に加わっていくことになります。個人においては自らの人生のために、また、日本の将来に向けては我々と一緒になって、新たな道を切り拓き、創造していかねければなりません。

これらのことを踏まえ、卒業という節目に当たり、私から皆さんに期待を込め、二つのお願いをしたいと思います。

一つ目は、『ゲームチェンジャー』の気概を持って」です。

時代がどんどん変わっていく中で、古いものを尊重しつつも、新しいものも取り入れていくことができれば、変化していく世の中に対応していけます。「ゲームチェンジャー」というのは、既存のルールや常識を大きく変える存在のことをいいますが、その気概を持つことが、これからの社会において、常に求められていることなのです。

皆さんは、本校の目指す学校像の下、三年間、普通教科及び専門科目を学び、課題研究に取り組み、それらを修めて卒業をします。したがって、全員が専門の知識と技術、そして課題解決能力という付加価値を得ていることになります。

その土台に加えて、これからは「ゲームチェンジャー」の気概を持って、挑戦していった欲しいということです。例えば、それぞれが進む分野において、既存の価値観や慣行が古いと感じたならば、自ら行動し、変化や新しい流れを生み出すことにチャレンジしてみてください。そして日本が弱いとされる、生産性や効率性を少しでも上げるきっかけを作れるような、そんな人物になられることを期待いたします。

二つ目は、「一生涯、学び続けよ」です。

先ほど、日本の学力レベルは他国に比べて高いということを話題にしました。しかしこの調査では、二十五歳を超えると日本人の学力は徐々に低くなり、五十歳以上になると大きく順位が低下するという結果も出ています。これは多くの人が社会に出ると学ばなくなるという、生涯学習における日本の現状を浮かび上

がらせています。

さて、「ゲームチェンジャー」たるに必要な資質の一つとして挙げられるのは、その人が持っている知識や情報などを新しくつなぎ合わせ、そこから従来にない発想を生み出すことができる能力です。そのためには、日頃から学び続けることが大事です。そして、たくさん知識や情報といった要素を、自分の中に貯めておくことです。つまり何もないところから、新しい考えやひらめきは生まれないのです。

さらに、この日頃から学び続けるということは、社会に出た二十代のうちに身に付けておくべきものです。この若い時代に習慣づけておけば、後の人生において、抵抗なく学ぶことを継続していけるものだと思います。

また、私はこれまで読書することを皆さんに勧めてきましたが、一見、仕事や生活とは関係ないと思われる読書も学びの一つであり、そこで得たつながりのない知識や情報をうまく結び付け、活用する中で、考える力、正しい判断や行動力が身につくものです。一生涯学び続けるということを通じて、社会への貢献や充実した人生を送られることを期待いたします。

最後になりますが、保護者の皆様、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。高校だけで三年間、合計すれば十八年間、慈しみ育て今日を迎えられました。喜びも「ひとしお」と思います。

また、皆様には、三年間、PTA会員として本校の教育活動に対し、温かい御理解とお力添えをいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

結びに、本校を卒業する皆さんの、今後の御健闘と御活躍を心からお祈り申し上げます、式辞といたします。

令和七年 三月 十一日

埼玉県立越谷総合技術高等学校

校長 野口 剛志